

救急隊員のみなさまへ



この前、学校で「親子で救急救命」という講習会を受けました。

ぼくは、いつも以上に真剣にこの講習を受けました。

なぜなら、ぼくの家族が病気やけがで救急車に来てもらう事が続いたからです。

ぼくのおじいちゃんは、長い間病気と闘っていて入退院をくり返しています。

急激な病状の悪化が起こった時、ぼくたちでは苦しんでいる身体の大きいおじいちゃんを動かさせません。

そんな時、119番に電話するとすぐに救急車が来てくれておじいちゃんを病院へ連れて行ってくれました。

お母さんが事故にあつた時もすぐに救急車が来て助けてくれたそうです。

何日か後、お母さんは事故の影響で夜中に動けなくなった時も救急車に来てもらいました。

夜中だし苦しそうで動けなくなったお母さんを見て不安と心配

でいっぱいになったぼくに、救急隊員の人たちが、「よくがんばったね。えらかたよ」と、はげましてくれました。

サイレンの音は大きくて怖いと思っていたけれど、実際に自分たちが助けられた時には、

「ヒーローヒーロー、今行くよ。ヒーローヒーロー、助けるからね。」

と聞こえました。

いつでも、どんな時でも、スーパーヒーローや正義の味方みたいに助けに来てくれる救急隊員さんたちに心からありがとうございますの気持ちを伝えたいです。

本当にありがとうございます。

おじいちゃんやお母さんを助けてくれてありがとうございます。



郡司 早都 より

